【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【公開番号】特開2015-218182(P2015-218182A)
【公開日】平成27年12月7日(2015.12.7)
【年通号数】公開・登録公報2015-076
【出願番号】特願2014-100177(P2014-100177)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ　23/10　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　23/04　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　 5/09　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　 5/14　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　23/26　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/32　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　23/10
Ｃ０８Ｌ　23/04
Ｃ０８Ｋ　 5/09
Ｃ０８Ｋ　 5/14
Ｃ０８Ｌ　23/26
Ｂ３２Ｂ　27/32　１０１

【手続補正書】
【提出日】平成29年4月17日(2017.4.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（α）ポリオレフィン系重合体　１００質量部；
（ｄ）不飽和カルボン酸、及び不飽和カルボン酸誘導体からなる群から選択される１種以上　０．０５～５．０質量部；及び
（ｅ）有機過酸化物　０．０５～５．０質量部；
を含み、ここで上記（α）ポリオレフィン系重合体は、
（ａ）結晶性ポリプロピレン系重合体　１０～６０質量％と、（ｂ）ポリプロピレン系重合体プラストマー　９０～４０質量％とからなる（β）ポリプロピレン系重合体　５５～９０質量部；と、
（ｃ）ポリエチレン系重合体　４５～１０質量部；
とからなる熱可塑性樹脂組成物（Ａ）。
但し、上記成分（ａ）と上記成分（ｂ）との和は１００質量％であり、上記重合体（β）と上記成分（ｃ）との和は１００質量部である。

【請求項２】
請求項１に記載の熱可塑性樹脂組成物（Ａ）　１０～４５質量部；と
（ｆ）ポリプロピレン系重合体　９０～５５質量部；とを含み、
ここで上記組成物（Ａ）と上記成分（ｆ）との和は１００質量部である、熱可塑性樹脂組成物（Ｂ）。

【請求項３】
請求項２に記載の組成物（Ｂ）の製造方法であって、
上記成分（ａ）～（ｅ）を含む混合物を溶融混練し、上記組成物（Ａ）を得た後、
上記組成物（Ａ）と上記成分（ｆ）とを含む混合物を溶融混練する方法。

【請求項４】
請求項１に記載の熱可塑性樹脂組成物（Ａ）からなる層（ｐ）を少なくとも１層有する積層体。

【請求項５】
請求項２に記載の熱可塑性樹脂組成物（Ｂ）からなる層（ｑ）を少なくとも１層有する積層体。

【請求項６】
ポリプロピレン系重合体層、上記層（ｐ）、エチレン－ビニルアルコール共重合体層が、この順に、直接積層されている請求項４に記載の積層体。

【請求項７】
ポリプロピレン系重合体層、上記層（ｑ）、エチレン－ビニルアルコール共重合体層が、この順に、直接積層されている請求項５に記載の積層体。